



BOSHIN DISCLOSURE 2017

房 総 信 用 組 合 の 現 況

平成29年度上半期(平成29年9月末現在)経営情報



房総信用組合

ホームページ <http://www.boshin.jp>

本部	茂原市高師町1丁目10番地5	TEL:0475(22)5111	FAX:0475(23)9777	大原支店	いすみ市大原9231番地の3	TEL:0470(62)2225	FAX:0470(63)1807
本店	茂原市高師町1丁目10番地5	TEL:0475(22)6111	FAX:0475(22)6112	白子支店	長生郡白子町五井1708番地の1	TEL:0475(33)3612	FAX:0475(33)3594
本納支店	茂原市本納1773番地	TEL:0475(34)3302	FAX:0475(34)3318	岬東支店	いすみ市岬町椎木1781番地3	TEL:0470(87)3166	FAX:0470(87)5971
一宮支店	長生郡一宮町一宮3089番地	TEL:0475(42)2061	FAX:0475(42)2071	茂原支店	茂原市茂原347番地	TEL:0475(24)3335	FAX:0475(24)3337
長南支店	長生郡長南町長南2474番地の4	TEL:0475(46)1159	FAX:0475(46)1303	鴨川支店	鴨川市横渚283番地の7	TEL:04(7092)1221	FAX:04(7093)1277
夷隅町支店	いすみ市刈谷189番地の1	TEL:0470(86)2150	FAX:0470(86)3689	勝浦支店	勝浦市勝浦28番地の1	TEL:0470(73)0025	FAX:0470(73)0099
町保支店	茂原市町保42番地の22	TEL:0475(24)2321	FAX:0475(25)4800	御宿支店	夷隅郡御宿町須賀450番地の6	TEL:0470(68)2731	FAX:0470(68)2115
岬支店	いすみ市岬町長者183番地の1	TEL:0470(87)2214	FAX:0470(87)7696				

ごあいさつ

皆様には、平素より房総信用組合に格別のお引き立てを賜り、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

本年も、平成29年度上半期の事業内容を収めましたミニディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧いただき、房総信用組合へのご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

今後とも、皆様方のご期待に応えられるよう役職員一丸となって業務に邁進して参りますので、一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 白井 和

経営理念

房総信用組合は、お客様の繁栄と地域社会の発展に貢献します。

経営方針

- ・お客様の立場で考え行動します。
- ・健全で堅実な経営に徹します。
- ・明るく活力ある組織を確立します。

房総信用組合の概要

設 立	昭和26年6月
出 資 金	1,131百万円
組合員数	29,646人
店 舗 数	14店舗
職 員 数	152人 (平成29年9月30日現在)

経営情報

平成29年度上半期(平成29年4月1日～平成29年9月30日)における経営情報をお知らせいたします。

貸借対照表

(単位:百万円)

【資 産 の 部】	平成28年9月末	平成29年9月末	【負 債 の 部】	平成28年9月末	平成29年9月末
現金	883	955	預金積金	124,447	125,334
預け金	57,157	56,670	その他負債	382	409
有価証券	18,757	19,285	賞与引当金	53	52
貸出金	52,441	53,078	役員退職慰労引当金	140	150
その他資産	547	525	睡眠預金払戻引当金	2	3
有形固定資産	1,377	1,392	偶発損失引当金	10	11
無形固定資産	8	7	再評価に係る繰延税金負債	67	67
繰延税金資産	111	151	債務保証	55	63
債務保証見返	51	63	負債の部合計	125,158	126,093
貸倒引当金	△ 1,284	△ 1,324	【純 資 産 の 部】		
(うち個別貸倒引当金)	(△ 1,242)	(△ 1,269)	出資金	1,122	1,131
			利益剰余金	3,230	3,160
			組合員勘定計	4,352	4,292
			その他有価証券評価差額金	381	256
			土地再評価差額金	164	164
			評価・換算差額等合計	545	420
			純資産の部合計	4,898	4,712
資産の部合計	130,056	130,806	負債及び純資産の部合計	130,056	130,806

(注)記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

損益計算書

(単位:百万円)

科 目	平成28年9月末	平成29年9月末	科 目	平成28年9月末	平成29年9月末
経常収益	854	734	経常利益	111	8
資金運用収益	711	653	税引前当期純利益	111	8
(うち貸出金利息)	570	518	法人税・住民税及び事業税	6	7
役務取引等収益	47	41	当期純利益	105	1
その他業務収益	32	0	前期繰越金	246	275
その他経常収益	62	28	当期末処分剰余金	352	276
経常費用	742	725			
資金調達費用	36	12			
(うち預金利息)	20	10			
役務取引等費用	65	74			
経 費	639	637			
その他経常費用	1	1			

(注)記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。
表示における「0」は表示単位未満の残高があることを表しています。

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

(単位:百万円、%)

区分		債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)	貸倒引当金引当率 (C)/(A-B)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	平成29年3月	1,440	1,275	165	1,440	100.00	100.00
	平成29年9月	1,533	1,367	166	1,533	100.00	100.00
危険債権	平成29年3月	3,394	1,650	1,102	2,753	81.11	63.23
	平成29年9月	3,389	1,650	1,103	2,754	81.24	63.44
要管理債権	平成29年3月	343	101	12	114	33.21	5.28
	平成29年9月	369	101	13	115	31.20	5.13
不良債権計	平成29年3月	5,179	3,028	1,280	4,308	83.18	59.52
	平成29年9月	5,292	3,119	1,283	4,402	83.19	59.05
正常債権	平成29年3月	47,402					
	平成29年9月	47,985					
合計	平成29年3月	52,582					
	平成29年9月	53,277					

※各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。
(以下 同)

(注)平成29年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急処置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリにより分類し、以下の簡便な方法により算出しております。従って、平成29年3月末の計数とは算出方法が異なるため、計数は連続しておりません。

<平成29年9月末の算出方法>

- 債務者区分については原則として平成29年3月末時点における自己査定による債務者区分を基準としております。ただし、4月1日から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事由ならびに内部格付による債務者区分の変更等のあった債務者については、当組合の定める基準に基づく債務者区分見直し後の債務者区分によっております。
- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額は、債務者区分でいう破綻先及び実質破綻先に該当する債務者に対する債権の合計です。
- 「危険債権」の金額は、債務者区分でいう破綻懸念先に該当する債務者に対する債権の合計です。
- 「要管理債権」の金額は、債務者区分でいう要注意先に該当する債務者に対する債権のうち貸出条件を緩和している債権及び3か月以上延滞している貸出債権の合計です。
- 「正常債権」の金額は、債務者の財務状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権の合計です。

単体自己資本比率

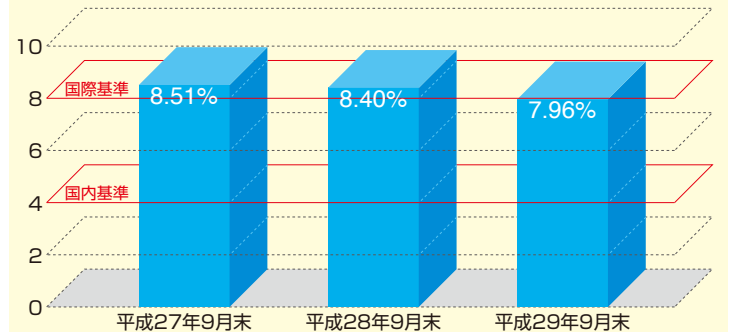
(単位:%)

	平成28年9月末	平成29年9月末
単体自己資本比率	8.40	7.96

自己資本比率の見方

自己資本比率とは、金融機関の経営の健全性を示す重要な指標であり、貸出金や有価証券等のリスク資産に対して、資本金や引当金等の自己資本の占める割合を表しています。この比率が高いほど、自己資本が豊富にあり経営基盤がしっかりしていると言えます。国内でのみ営業を行う金融機関に対しては4%、国際業務を営む金融機関に対しては8%という基準が定められています。当組合の自己資本比率は7.96%と国内基準を大きく上回っています。

自己資本比率の推移



自己資本の構成に関する事項

(単位:百万円)

項目	平成28年9月期	平成29年9月期
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	4,352	4,292
うち、出資金及び資本剰余金の額	1,122	1,131
うち、利益剰余金の額	3,230	3,160
うち、外部流出予定額(△)	—	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	41	54
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	41	54
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	83	73
コア資本に係る基礎項目の額	(イ) 4,477	4,420
コア資本に係る調整項目の額	(ロ) 2	3
自己資本の額((イ)-(ロ))	(ハ) 4,474	4,417
信用リスク・アセットの額の合計額	50,004	52,305
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	3,230	3,137
リスク・アセット等の額の合計額	(ニ) 53,234	55,443
自己資本比率	((ハ)/(ニ)) 8.40%	7.96%

(注)平成26年度より新告示に基づく開示を行っております。
なお、当組合は国内基準を採用しております。

損益の状況

(単位:百万円)

科目	平成28年9月末	平成29年9月末
業務収益	792	705
業務費用	736	719
業務純益	56	△13
臨時収益	62	28
臨時費用	6	6
経常利益	111	8
特別利益	—	—
特別損失	—	0
税引前当期純利益	111	8
法人税、住民税及び事業税	6	7
法人税等調整額	—	—
当期純利益	105	1

平成29年度地域密着型金融推進計画の取組状況について(29年9月末現在)

1.取組方針

当組合は、地域経済の発展、組合員の事業の反映、豊かな家庭生活のお手伝い、という組合の基本的な目標を前提として、地域に根ざした密度の濃いコミュニケーションをベースに、お客様の立場に立った金融機能の発揮を目指します。

2.取組項目

- (1)お取引先企業等に対するコンサルティング機能の発揮
 - ①.日常的・継続的な関係強化と経営の目標や課題の把握・分析
 - ②.最適なソリューションの提案
- (2)地域の面的再生への積極的な参画
- (3)地域や利用者に対する情報発信

3.具体的な取組策

取組項目	担当部署	平成29年度の取組計画	平成29年度上期(29年4月～9月末)の取組結果
(1)お取引先企業等に対するコンサルティング機能の発揮			
お取引先企業との日常的・継続的な面談等により、経営の悩み等を率直に相談できる信頼関係を構築し、経営の目標や課題等を把握・分析し、ライフステージに応じた課題の解決支援に取組みます。 特に、経営改善、事業再生等の支援が必要なお取引先企業に対しては、①経営改善(再建)計画の策定支援、②新規の信用供与、事業再生支援に関する主体的関与をすることとします。	融資部	<ul style="list-style-type: none"> 経営改善計画策定に当たり、事前に決算書分析や不良資産等を確認後、債務者とのヒアリングを通じて、債務者等が認識している経営上の課題・問題点や、強み・弱み、今後の成長が期待できる事業等の意見交換を行うため、ローカルベンチマーク対応ヒアリングシートの制定及び千葉県中小企業診断士協会と業務提携により、債務者との面談時に同行ヒアリング、作成支援により、経営者との経営目標や課題を共有しその後、職員が定期的面談により進捗状況の管理に取組みます。 当組合単独、あるいは診断士協会との対応では、経営改善が難しいと判断した先につきましては、外部機関の利用促進に取組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> 上期中に当組合の支援により経営改善計画書を策定した先は12先でした。うち、新たな経営改善計画書を策定した先は2先で、修正計画を策定した先が10先でした。また、12先のうち、外部機関との連携・協力も得て経営改善計画書を策定した先は4先でした。 経営改善計画書の策定支援にあたっては、事前に決算分析や不良資産等を確認し、経営者等とのヒアリングを通じて、経営者等が認識している経営上の課題・問題点や、強み、弱み、今後の成長が期待できる事業等について意見交換を行い、実現可能性の高い経営改善計画書となるように取り組んでおります。 当組合単独では経営改善が難しいと判断した先につきましては、経営改善支援センターなど外部機関の利用促進にも取り組んでおります。
①.日常的・継続的な関係強化と経営の目標や課題の把握・分析 お取引先企業のライフステージの見極めと、ライフステージに応じた目標や課題の把握・分析	融資部	<ul style="list-style-type: none"> 当組合の大口与信先や、未保全額が多い先10先につきましては、少なくとも毎月一回以上の訪問を徹底して、債務者の経営上の課題・問題点を把握し、改善に向けたアドバイスや、改善の進捗状況をモニタリングすることにより、本部担当部署が一元管理できる仕組みを構築いたしましたので、管理を継続致します。 経営改善計画策定先は、債務者の決算期ごとに経営改善計画と実績の比較・検討を行います。達成状況が思わしくない項目等については、その要因や改善策の妥当性を債務者とともに再検討を行い、今後の計画達成策の状況をモニタリングすることにより、計画が達成できるよう、できる限りのアドバイスに努めます。 平成29年度に千葉県中小企業診断士協会との業務委託により、ミラサボを活用した簡易版経営改善計画策定及び職員の対応力向上のため研修会を年3回予定。ミラサボを活用した簡易版経営改善策定先及び改善支援センターによる対応先として、当組合の経営に与える影響の大きい先30先を担当部署抽出し、中小企業診断士によるヒアリングを実施した後に、対応方針を協議する。又職員向け研修会については、7月、9月、12月を予定中。 	<ul style="list-style-type: none"> 大口与信先(138先)および未保全額が多い先(10先)を選定し、営業店は少なくとも毎月一回以上訪問して、債務者の業況や経営上の課題・問題点等についてモニタリングを行った後、毎月10日までに本部担当部署に報告しています。担当部署は営業店の管理状況を把握し、必要に応じてアドバイスをしております。 経営改善計画策定先は、債務者の決算期ごとに経営改善計画と実績の比較検討を行っております。計画対実績が思わしくない項目については、経営者とのヒアリング等によりその要因や改善策の妥当性を検証し、必要に応じて取組方法を変更するなどのアドバイスを行い、その経過結果をモニタリングすることにより、計画が達成出来るように努めております。
②.最適なソリューションの提案 ライフステージに応じた目標の実現や課題解決に向けたコンサルティング機能の発揮 外部専門家・外部機関との連携による支援 国や地方公共団体の中小企業支援施策を活用した支援	融資部	<ul style="list-style-type: none"> 経営支援及び事業再生支援が必要な企業に対して、ミラサボの活用による専門家支援及び千葉県中小診断士協会、TKCとの連携による支援を実施致します。 中小企業者支援のために、昭和リース(株)、千葉県農業信用基金協会、千葉県信用保証協会等による保証事務研修会を職員向けに実施致します。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度より千葉県中小企業診断士協会と経営診断及び経営改善指導業務等の業務委託契約を締結し、対象30社を選定するうえ経営上の課題・問題点等を把握して、経営改善計画の策定支援と計画達成に向けた支援に取り組んでいます。また、併せて経営改善支援センターやミラサボの活用についても実施しています。事業再生支援が必要な企業に対しては、千葉県診断士協会及びTKC等との連携による支援を実施致しました。 事業承継ネットワーク構築事業の一環として、第1回事業承継セミナーを10月に当組合にて実施することが決定致しました。また「事業承継に関するアンケート」を10月から実施する予定です。 創業支援における職員の知識とスキル向上を図るため、日本政策金融公庫と連携して「創業時の融資審査ポイント」研修を11月に実施する予定です。
(2)地域の面的再生への積極的な参画			
当組合が貢献可能な分野や役割に対し、地方公共団体や地域経済団体等と連携して地域活性化のための取組みに参画します。	融資部	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県クラウドファンディング活用検討会議に地元金融機関として参加いたします。 千葉県産業振興センターと連携し、よろず支援拠点のサテライト相談所を本店、一宮支店、大原支店、鴨川支店の4店舗持ち回りにて、毎月第3火曜日に実施いたします。 中小企業者、小規模事業者の本業支援のため千葉県産業振興センター主催のよろず支援拠点ステップアップセミナー開催に際しては、中小企業者、小規模事業者へ広く案内を行い参加申込みを受付いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県主催の第1回「千葉ふるさと投資」活用支援会議に参加し、同日制定されました補助金事業について、営業店を通じて広く告知し活用促進に努めました。 千葉県産業振興センターと連携し、よろず支援拠点サテライト相談所を毎月第3火曜日に実施致しました。4～9月の相談利用状況につきましては、24事業所からの相談に対応致しました。 平成29年度「ちば起業家交流会」について、営業店を通じて広く告知し活用促進に努めました。 「茂原市創業支援事業計画」の実施に係る金融懇談会担当者会議に地元金融機関として参加しており、今後の同事業の運営についても協力してまいります。
地方公共団体との関係強化による地域活性化対策への参画、協力	営業統括部	<ul style="list-style-type: none"> まち・ひと・しごと地方創生に係る地公体等の施策(定住促進や雇用創出等に資する事項や観光プロモーション活動に資する事項等)に対して協力を検討していく。 	
地域の経済団体や中小企業関係団体等との関係強化による地域活性化対策への参画、協力			
(3)地域や利用者に対する情報発信			
当組合の地域密着型金融の取組みについて、地域やお取引先等へ情報を発信することにより、理解を深めて信頼を確立します。	経営管理室	<ul style="list-style-type: none"> 地域密着型金融の取組みに関する計画および取組実績をディスクロージャーで開示する。 地域密着型金融の取組みに関する計画および取組実績をホームページ上で開示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度の取組結果について、ディスクロージャー誌「房総信用組合の現況2017」および当組合ホームページに掲載して開示しました。 平成29年度の計画について、当組合のホームページに掲載して開示しました。なお、半期ディスクロージャー誌に計画ならびに上期の取組状況を掲載して開示する予定です。
地域密着型金融の取組みに関する情報のディスクロージャーでの公開			
地域密着型金融の取組みに関する情報のホームページでの公開			

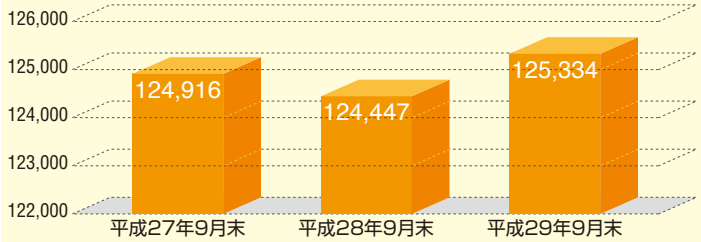
預金・貸出金の状況

(単位:百万円)

区分	平成28年9月末	平成29年9月末
預金残高	124,447	125,334

中・小口預金を中心とした預金獲得に努め前年同期比、887百万円増加しました。

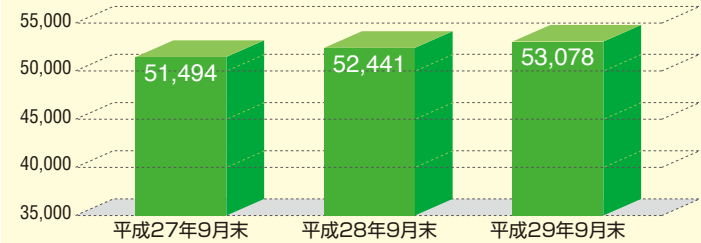
預金の推移



区分	平成28年9月末	平成29年9月末
貸出金残高	52,441	53,078

小口融資を中心に積極的に推進した結果、前年同期比 636百万円増加しました。

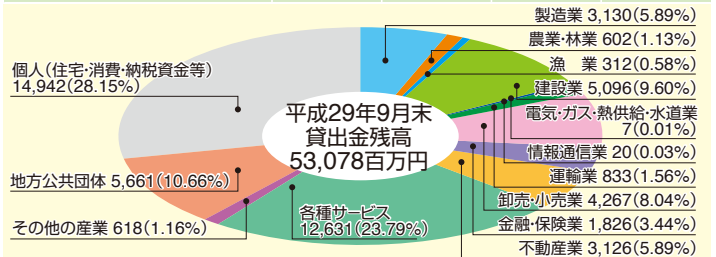
貸出金の推移



貸出金業種別残高・構成比

(単位:百万円、%)

業種別	平成28年9月末		平成29年9月末	
	金額	構成比	金額	構成比
製造業	3,111	5.93	3,130	5.89
農業・林業	596	1.13	602	1.13
漁業	276	0.52	312	0.58
鉱業	—	—	—	—
建設業	4,555	8.68	5,096	9.60
電気・ガス・熱供給・水道業	3	—	7	0.01
情報通信業	23	0.04	20	0.03
運輸業	790	1.50	833	1.56
卸売・小売業	4,369	8.33	4,267	8.04
金融・保険業	1,824	3.47	1,826	3.44
不動産業	3,209	6.12	3,209	5.89
各種サービス	13,293	25.31	12,631	23.79
その他の産業	338	0.64	618	1.16
小計	32,394	61.77	32,474	61.18
地方公共団体	5,094	9.71	5,661	10.66
雇用・能力開発機構等	—	—	—	—
個人(住宅・消費・納税資金等)	14,953	28.51	14,942	28.15
合計	52,441	100.00	53,078	100.00



有価証券の時価情報

その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

	平成28年9月末					平成29年9月末				
	取得 原価	貸借対照表 計上額	評価差額		取得 原価	貸借対照表 計上額	評価差額			
			うち益	うち損			うち益	うち損		
株式	801	747	△53	12	65	801	866	64	72	7
債券	15,735	16,239	504	528	23	16,713	16,945	232	292	60
(国債)	6,704	7,004	299	310	10	5,888	5,992	103	143	39
(地方債)	2,601	2,717	115	115	—	2,600	2,679	78	78	—
(社債)	6,429	6,518	88	101	13	8,224	8,273	49	70	21
その他	1,193	1,269	75	116	41	1,116	1,173	57	107	50
合計	17,730	18,257	526	656	130	18,631	18,985	353	472	118

満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位:百万円)

	平成28年9月末					平成29年9月末				
	貸借対照表 計上額	時価	評価差額		貸借対照表 計上額	時価	評価差額			
			うち益	うち損			うち益	うち損		
外国証券	500	520	20	22	1	300	298	△1	1	3
国内債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	500	520	20	22	1	300	298	△1	1	3

地域貢献に関する情報

1.地域貢献に関する経営姿勢

当組合は、茂原市から鴨川市までの外房地域一帯を営業地区とし、地域の事業者や住民が組合員となり、お互いに助け合い発展していくという相互扶助の理念に基づき運営されている協同組合組織の金融機関です。

組合員、お客様一人一人の顔が見えるきめ細かな取引を基本としており、常にお客様の事業の繁栄や生活の質の向上に貢献するため、組合員の利益を第一に考えることを活動の基本としております。

また、地域社会の一員として、当組合の経営資源を活用し、地域社会の生活の質や文化の向上に積極的に取り組んでおります。

2.預金を通じた地域への貢献

当組合は、組合員をはじめとする地域のお客様の着実な資産づくりを支援するために、目的や期間に応じた各種預金・積金をご用意しております。平成29年9月末現在、1,253億円の預金をお預りしています。

3.融資を通じた地域への貢献

当組合は、営業地区内で調達した資金(預金)を地区内の事業者や個人のお客様に対して円滑に供給(貸出)することにより、地域経済の活性化に努めることが最大の地域貢献と考え、積極的に融資業務に取り組んでおります。

(1)貸出先数・金額(平成29年9月末現在)

区分	先数(先)	貸出残高(百万円)	内訳(百万円)	
事業者	1,446	32,474	(設備資金) 13,883	(運転資金) 18,591
個人	3,664	14,942	(住宅資金) 7,912	(消費者ローン) 1,227
地方公共団体	13	5,661		
合計	5,123	53,078		

(次頁へつづく)

地域貢献に関する情報

(2) 地方自治体の制度融資の取扱状況

当組合は、千葉県や茂原市など地区内各市町村の中小企業向け制度融資の取扱窓口に指定されており、平成29年9月末現在、1,124件、3,999百万円のご利用を頂いております。

制度の名称	取扱件数(件)	貸出残高(百万円)
千葉県事業振興融資資金	756	2,812
千葉県その他制度融資資金	97	417
千葉県短期運転資金	87	319
市町村等制度融資	184	450
合計	1,124	3,999

(3) 当組合の融資商品の概要

当組合では、事業者や個人の資金ニーズにお応えするため、次のような融資商品を取り扱っております。

① 事業者向けご融資

種類	概要
証書貸付	主に設備資金などでご利用いただく長期のご融資です。
手形貸付	主に運転資金などでご利用いただく短期のご融資です。
手形割引	一般商業手形の割引です。
当座貸越	一定の貸越極度額まで自由にご利用いただける当座預金の貸越契約です。

② 個人向けご融資

種類	資金のお使いみち	ご融資金額(上限)	ご融資期間(最長)	担保・保証
住宅ローン	住宅の新築・増改築・購入	10,000万円	35年	不動産・保証人または保証会社
リフォームローン	リフォーム関連資金	500万円	10年	保証会社
リフォームローン・ワイド	//	1,000万円	15年	保証会社
カーライフローン	自動車等の購入・車検・免許取得費用	1,000万円	10年	保証会社
カーライフローン・リピート	自動車等の購入・車検・免許取得費用(お取引のあるお客様向け)	1,000万円	10年	保証会社
カードローン	事業資金以外の健全な消費資金	300万円	3年(自動更新)	保証会社
スーパーカードローン	事業資金以外の健全な消費資金	70万円	3年(自動更新)	保証会社
カードローン・アラカルト	事業資金以外の健全な消費資金	500万円	1年(自動更新)	保証会社
多目的ローン	商品・サービス代金の支払い	300万円	7年	保証会社
目的ローン	事業資金、旧償返済資金以外で資金使途が明確な資金	500万円	10年	保証会社
フリーローン	事業資金、旧償返済資金以外の消費資金	500万円	10年	保証会社
教育ローン	教育資金全般	200万円	10年	家族保証
教育ローン極度型チャンス	教育資金全般	500万円	3年(自動更新)	保証会社
進学ローン	入学金・授業料・下宿代等の支払い	300万円	10年	保証会社
シルバーライフローン	健康で、文化的な生活を営むための資金	100万円	5年	保証会社
シニアライフローン	健康で、文化的な生活を営むための資金	200万円	5年	保証会社
CSフリーローン	健康で、文化的な生活を営むための資金	300万円	7年	保証会社
ぼうしんパートナーズ	運転資金、設備資金等の事業資金	500万円	5年	保証会社
バリアフリーローン	介護のための増改築、介護機器福祉車両等購入資金・施設入居費用	500万円	10年	保証会社
司法書士研修費用専用ローン	新人研修特別研修の授業料、教材費等の資金	100万円	5年	保証会社

4. 取引先への支援状況等

当組合は、地域経済の活性化・振興への貢献活動として、創業・新事業支援や要注意先等に対する経営改善指導、事業再生支援などに取り組んでおります。

(1) 創業・新事業支援

新規・独立開業や、取引先企業の新分野進出に対する資金ニーズについては、当組合のフロー融資や政府系金融機関の代理貸付、地方自治体制度融資などの利用により対応しております。

現在、創業・新事業支援機能を更に強化するため、企業の将来性や技術力を的確に評価できる人材の育成、政府系金融機関との連携や(財)千葉市産業振興財団の活用などに取り組んでおります。

(2) 要注意先等のランクアップの取組み

要注意先債権等の健全債権化及び不良債権の新規発生防止を図るため、本部・営業店が一体となり、経営改善の可能性のある取引先を選定し、経営改善指導等の支援を行っております。

(3) 事業再生支援

取引先企業の早期事業再生を図るため、経営改善計画の策定を求めたり、貸出条件の緩和などの金融支援を行い、過剰債務の解消・再生に向けて取引先企業と協調して取り組んでおります。

現在、経営相談・支援機能の強化や、事業再生支援に関する人材の育成、千葉県中小企業再生支援協議会や(社)中小企業診断士協会千葉県支部との連携など、企業の再生に向けた取組みを積極的に進めております。

5. 地域へのサービスの充実

当組合では、地域の皆様への感謝を込めた企画や、ご利用者の利便性向上に努めております。

特に、ご高齢のお客様には色々な特典付商品をご用意しております。

- ・懸賞金付普通預金(年金口座)「心づくし」
- ・懸賞金付定期預金「福運」
- ・優遇金利+懸賞金付定期預金「100歳100歳」

組合員様限定商品をご用意しております。

- ・ご優待定期預金 ぼうしんメンバーズ・プレミアム (期間限定) 子育てファミリーを応援します。
 - ・子育て応援定期預金「すくすく積み太くん」
- 営業地区内店舗数…14店舗、ATM設置台数20台

6. 文化的・社会的貢献活動

当組合は、金融業務を通じた地域貢献だけでなく、色々な分野で地域のお役にたちたいと考え、たとえば次のような活動を行っております。

- ・ごみゼロ運動……全職員が各店別に毎月1回の早朝路上清掃活動を行っております。
- ・しんくみの日週間…9月2日(土)に『しんくみの日』を記念して、当組合を会場に「献血運動」を実施しました。今年で10回目となりましたが役員39名のほか一般の方からも献血に協力をいただきました。次年度も継続していきます。
- ・地域行事 ……茂原七夕まつり、一宮かすさ祭りへの参加や各地区で開催される商工祭やイベントを積極的にお手伝いしております。
- ・ゲートボール大会…地域のゲートボール愛好会の方々のご参加を頂き、当組合の主催による大会を開催しております。



献血運動



かすさ祭り

◆相談・苦情窓口

相談・苦情受付ホットライン



フリーアクセス

0120-940-339

までお願いします。